

令和7年度 農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)のうち地域資源活用価値創出推進事業(農福連携型)及び地域資源活用価値創出整備事業(農福連携型)  
事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和7年度に実施された農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)のうち地域資源活用価値創出推進事業(農福連携型)及び地域資源活用価値創出整備事業(農福連携型)」の事業について、農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記5の第10の2の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和7年度に交付金事業を実施した9地区内の2地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。  
その結果、優良と認められる地区が1地区、良好と認められる地区が1地区、総合的に低調と認められる地区が0地区との評価結果となった。

3. 各地区の評価結果

2地区

| 農政局等 | 都道府県 | 市町村  | 事業実施主体名    | 事業実施段階 |    |    |    |                  |             |        |    | 評価 | 評価コメント                                                                                                                                                                                 |
|------|------|------|------------|--------|----|----|----|------------------|-------------|--------|----|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      |      |      |            | R1     | R2 | R3 | R4 | R5               | R6          | R7     | R8 |    |                                                                                                                                                                                        |
| 北陸   | 富山県  | 上市町  | いっぽいっぽ株式会社 |        |    |    |    | ●<br>★<br>▼<br>▲ | ●<br>▼<br>▲ | ■<br>◆ |    | B  | 水耕栽培の技術指導を受け、障害者の技能向上、品質の向上を図り、地域の農産物直売所など販売先が増え知名度が上り、固定客も増えてきているものの、売上高が目標を大きく下回った。しかし、栽培ノウハウを蓄積し、障害者が携わる作業マニュアルの見直しなどを行うことで、障害者の作業環境、作業効率の改善を図り雇用及び就労の人数が目標を上回る成果となった。そのため、良好と評価する。 |
| 北陸   | 福井県  | あわら市 | 株式会社農楽里    |        |    |    |    | ●<br>★           | ●           | ■<br>◆ |    | A  | 障害者が行う農作業、農産加工の安全性や生産性の向上、障害者の就労技能向上に繋がる実務研修の実施など障害者が農業分野で活躍するための取組となっており、目標を超える障害者が整備した精米施設で作業に携わる結果となっている。また、精米等の販売が順調に伸び売上高が目標を大きく上回る成果となっている。このため、優良な評価とする。                        |

(注1)「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)  
ハード対策 ☆…交付対象年度(計画) ★…交付対象年度(実施済) ◇…目標年度(計画) ◆…目標年度(実施済)  
重点指導 ▼…重点指導(通知) △…重点指導(結果報告予定) ▲…重点指導(結果報告)

(注2)「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調 評価対象外…評価対象外

#### 4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記5の第10の3の規定に基づき、第三者機関である「北陸農政局農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

##### 【評価委員会 委員】

委員長：桑原 美香（福井県立大学経済学部教授）

委員：青山 浩子（新潟食料農業大学食料産業学部教授）、今村 智子（金沢星稜大学経済学部准教授）

##### 【令和8年度評価委員会の開催概要】

1 日 時 :令和8年8月24日(月) 13:30～16:00

2 場 所 :金沢広坂合同庁舎 1階第3会議室(オンライン併用による開催)

3 議事概要

① 令和7年度評価対象地区の評価方法について

本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。

② 令和7年度評価対象地区の評価及び取組状況について

令和7年度に交付金事業を実施した9地区内の2地区について、取組概要、評価案に関して説明し質疑応答を行い了承を得た。

また、今年度の評価対象外ではあるが、昨年度に重点指導対象となっていた2地区の、重点指導結果に関して説明し、質疑応答を行い了承を得た。

4 主な意見

特になし